

平成26年度富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター講演会

# 認知機能と学びを支援する ソフトウェア・テクノロジー

一 発達障害、視覚や聴覚のさまざまな困りから高次脳機能障害まで一

五藤博義  
レデックス認知研究所 所長

平成26年12月16日(火)  
午後6時～8時

富山大学人間発達科学部  
112講義室

参加費：無料

主催：富山大学人間発達科学部  
附属人間発達科学研究実践総合センター  
富山県発達障害研究会  
後援：富山県教育工学研究会

参加申し込みと問合せ：

参加を希望される方は、12月12日(金)までに、下記宛、メール又はファックスでお名前とご所属をお知らせください。

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター

菊池さとみ

FAX :076-445-6380

kikuchis@edu.u-toyama.ac.jp

富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センターでは、富山県発達障害研究会と共催で、下記のような講演会を開催いたします。特別支援教育、高次脳機能障害のリハビリ他、認知機能訓練と学びに興味関心のある方々の多数の参加を期待しています。

講演要旨：

外からは見えない視覚や聴覚、前頭前野の働きは、楽しく取り組めるパソコンゲームで計測・記録することができます。発達障害のある子どもなど、発達段階ステージは個人ごとに異なります。このような子どもの学習支援には、多様な認知機能の状態をモニターしながら、周囲が環境を整え、支援をすることが大切です。本講演では、生まれてから老年期まで、変容し続ける認知機能について解説し、一人ひとり異なる子どもたちの学習環境を整える方法について提案します。

五藤博義氏 略歴：

東京大学教育学部卒業、ベネッセ等で30年以上教材の研究開発に従事。松下教育研究財団森戸賞(1993)、ソーシャルカンファレンス大賞(2011)を受賞。こども脳機能バランサー、高次脳機能バランサーなど、認知機能と学びを支援する多数のデジタル教材を開発している。

